2020「日本史研究」授業プリント№.6

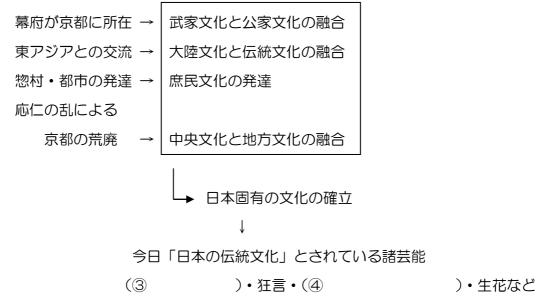
第5章 武家社会の成長

3 室町文化

《室町文化》

1 室町文化の推移

2 室町文化の特徴



《南北朝文化》

1 南北朝文化の特徴

・南北朝動乱の緊張感を反映 — 歴史書・(⑤)
・新興武士の「(⑥)
)」の気質 — (⑦)
・茶寄合・闘茶

2 文学				
• .歴史書 • 「増鏡」 ― 源平争乱~南北朝期を公家の立場で描写				
•「(⑧)」―北畠親房,南朝の正統性を主張				
•「(⑨)」一足利氏の政権掌握を武士の立場で描写				
・.軍記物 ・「太平記」 一 南北朝期を描写, 太平記読みが流布				
3 諸芸能				
・連歌 ― 和歌を上句と下句にわけ,一座の人びとが連作				
公家・武家を問わず流行				
・能楽 一 宗教的な芸能から分離した舞台芸能				
・(⑪) 一 闘茶(茶の異同を飲みわける賭事)が流行				
《北山文化》 1 北山文化の特徴				
北山殿(⑪)の建築様式が時代を象徴				
初層 = 寝殿造, 第二層 = 和様, 第三層 = 禅宗様				
2 臨済宗				
足利尊氏が(⑫)に帰依し、幕府が保護				
・ (⑬) の制 一 南宋にならい,僧録を置いて官寺を管理				
南禅寺を五山の上に置く				
√ 京都五山=天竜寺・相国寺・建仁寺・東福寺・万寿寺				
鎌倉五山=建長寺・円覚寺・寿福寺・浄智寺・浄妙寺				
・五山僧―政治・外交・文化(水墨画・宋学・文学)で活躍				
水墨画 — 明兆・(⑭)「瓢鮎図」・「寒山拾得図」(伝周文)				
五山文学 一 (15))• 義堂周信				
(⑯)一 禅の経典・漢詩文集などを出版				

()組()番 氏名(

)

2020「日本史研究」授業プリント№7

3 能(能楽)

神事芸能((①))・田楽)が歌舞・演劇の形で発達
大和猿楽四座 - (18)を本所とする猿楽座
(19)・宝生・金春・金剛
観阿弥・(②))は芸術性の高い猿楽能を完成
『(②))=(花伝書)』(能楽の理論書)

3代将軍足利義満の保護

《東山文化》

1 東山文化の特徴

東山山荘 (①) の建築様式が時代を象徴 下層 = 書院造風, 上層 = 禅宗様 禅の精神, 幽玄・侘びを精神的基調とする

- 2 (②) 一押板・棚・付書院・襖障子・明障子を用いた住宅様式近代和風住宅の原型で、慈照寺(③) が典型例
- 3 庭園─禅の精神で統一

(④) 一 岩石+砂利 → 象徴的な自然をつくり出す 作庭技術 — 河原者(山水河原者) 善阿弥 ← 同朋衆 (⑤) 石庭・大徳寺大仙院庭園

4 絵画

- 水墨画
 - (⑥) ー 明で技術を学んで帰国、日本的な水墨画様式を大成「四季山水図巻」「秋冬山水図」「天橋立図」

	• 大和絵			
	(7))派—土佐光信		
		応仁の乱後に宮廷	芸絵所預や幕府御用絵師となる	
	(8))派一狩野正信	「周茂叔愛・図」,「大仙院花鳥図」(伝元信)
		水墨画に伝統的な	な大和絵の手法を導入	
5	工芸一能面	• 金工(⑨))	
6	茶道(茶の湯)		
	(10))一簡素で関	寂な草庵の茶に侘びを求めた	
		(1)	→ 武野紹鷗 → 千利休	
		└ 茶と禅の一体化	比を主張	
7	花道(生花)-	-座敷の床の間飾り		
	立花 一	- 京都六角堂(⑫) → 池坊専応 → 池坊専好	
8	学問			
	• (13))一『建	武年中行事』『職原抄』『公事根源』	
	• 古典研究	(14)) ―『古今和歌集』の解釈を秘事口(<u>万</u>
			→ 宗祇	
		(15)) — 『花鳥余情』『樵談治要』	
	• (16)) 一 反	豆本地垂迹説,神道に儒教・仏教を統合	
ー ・吉田兼倶が提唱				

()組()番 氏名(

)